

わかりやすく、すぐに使える図面の基礎を速習します！ 設計意図を正しく伝えるための 寸法公差図面の描き方

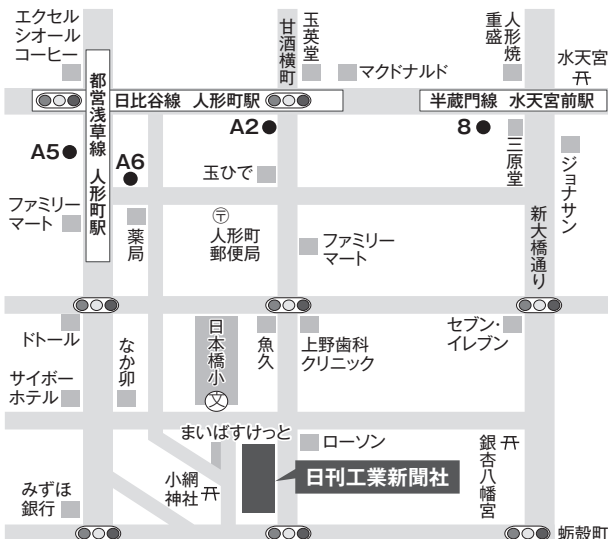
—寸法公差記入のルールから公差なくす・緩めるテクニックまで

日時 2020年10月2日(金) 10:00~17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム 東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円
*追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

日刊工業新聞社セミナー会場案内図



【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅(A2)出口より徒歩3分
東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅(8番)出口より徒歩4分
都営浅草線 人形町駅(A6)出口より徒歩3分

*会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でこ来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

| | | | | | | |
|--------------|------|--------------|--|---|---|--------------------------------|
| 受講申込書 | | 10/2 寸法公差LV1 | | お申し込みは <input type="text" value="日刊工業 セミナー"/> | | <input type="text" value="Q"/> |
| | | | | https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search | | |
| 会社名 | フリガナ | | | 業種 | | |
| 氏名 | フリガナ | 部署・役職 | | | | |
| 所在地 | 〒 | | | E-mail | ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> | |
| 備考 | | | | | | |

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

図面は描き方ひとつで信頼性やコストを左右する重要なドキュメントであり、誰が見ても同じように判断できる（読み取れる）ように描く技術が求められます。このような自身のスキルが不足しているにもかかわらず、「図面と違う部品が納品された…」などとボヤいていないでしょうか。

本講座は、そのような基礎力を速習できるよう、機能の重要性を表す寸法公差やはめあい公差、表面性状記号の描き方を解説。併せて、公差計算の基本的な考え方も紹介します。

基礎からきっちり学んでこそスキルアップにつながります。実務で図面を描く入社10年目ぐらいまでのエンジニアから、図面をチェックし部下を指導するリーダークラス、CADオペレーター・トレーサーの方まで、幅広い層の受講をお奨めします。

受講対象

実務で図面を描く入社10年目ぐらいまでの技術者や図面を検図し、部下を指導しなければいけないリーダー。今よりスキルアップしたいCADオペレーター・トレーサーの方。製図の基礎を改めて習得したい方。

講師

(株)ラブノーツ/六自由度技術士事務所 代表取締役
技術士(機械部門)

山田 学 氏

【略歴】S38年生まれ、兵庫県出身。ラブノーツ 代表取締役。

著書として、『図面って、どない描くねん! 第2版』、『設計の英語って、どない使うねん!』、『めっちゃ使える! 機械便利帳』、『図解力・製図力 おちゃのこさいさい』、『めっちゃ、メカメカ! リンク機構99→∞』、『メカ基礎バイブル 〈読んで調べる!〉設計製図リストブック』、『図面って、どない描くねん! Plus+』、『図面って、どない読むねん! LEVEL00』、『めっちゃ、メカメカ! 2 ばねの設計と計算の作法』、『最大実体公差』、『設計センスを磨く空間認識力“モチアゲ”』、『図面って、どない描くねん! バイリンガル』共著として『CADって、どない使うねん!』(山田学・一色桂 著)、『設計検討って、どないすんねん!』(山田学 編著)などがある。

プログラム

1. サイズとサイズ公差の関係

- 1-1 2016年の改正JISによるサイズ公差と幾何公差の使い分け
- 1-2 実力診断テスト：○×クイズによる現状知識の確認

2. サイズ公差の表記と使い方

- 2-1 意外と誰も知らないサイズ公差記入のルール
- 2-2 代表的な機械要素と設計テクニック
- 2-3 サイズ公差値の決め方・考え方（上限値と下限値）など

3. はめあい公差と表面粗さ

- 3-1 世界に通用する公差クラス記号の意味と使い方
：はめあい公差記号の意味、公差等級と公差域クラスの関係など
- 3-2 表面性状記号の意味と表し方
- 3-3 寸法公差を使う代表的な機械要素の設計テクニック

4. 公差計算の基本的な考え方

- 4-1 一部品内の公差計算の考え方
- 4-2 複数部品間の公差計算の考え方（累積公差）
- 4-3 公差計算をしているのに効果が得られない理由

5. まとめ

- 5-1 実力診断テスト：○×クイズによる習得知識の確認
- 5-2 質疑応答

随時、演習問題を行いますので、下記をご持参ください。

①筆記用具 ②蛍光ペンと4色ボールペン ③電卓